

札幌市豊平川さけ科学館 30周年記念フォーラム

～豊平川と野生サケを考える

さけ科学館は1984年に開館してから、今年で30周年を迎えます。開館のきっかけとなったカムバックサーモン運動から現在までの豊平川のサケについて振り返り、今後のサケとの関わりについて、有識者の話を聞きながら考えるフォーラムを行います。

2014年1月、市民有志が集まり「札幌ワイルドサーモンプロジェクト(swsp)」を設立しました。さけ科学館、行政・研究者とともに7月から始動しています。豊平川の野生サケを優先的に保全するために検討を始めます。フォーラムでは、豊平川の未来に向けて、活動を開始しているswspについてもご紹介します。

[プログラム]

- 14:00 開場
- 14:30 開会・あいさつ
- 14:40 [話題提供]

木村 義一氏 (北海道サーモン協会代表)

「カムバックサーモン運動の歴史と豊平川のサケへの思い」

有賀 望 (swsp 共同代表/札幌市公園緑化協会)

「豊平川のサケの現状とサケの順応的管理計画案」

畠山 亜希子氏 (札幌市環境局環境都市推進部生物多様性担当係長)

「札幌の生物多様性対策における豊平川の野生サケ保全活動の位置づけ」

(休憩)

荒木 仁志氏 (北海道大学大学院・農学研究院教授)

「野生魚を保全する意味」

中村 太士氏 (北海道大学大学院・農学研究院教授)

「豊平川のより良い未来に向かって」

ーワイルドサーモンプロジェクトの意義と可能性ー

16:45 [パネルディスカッション]

「これから豊平川にサケが生きることについて～市民の視点から」

司会 平田 剛士氏 (swsp 事務局長、フリーランス記者)

小川 巖氏 (エコ・ネットワーク代表)

佐藤 博充氏 (山鼻小学校教諭)

木村 義一氏 有賀 望

17:25 あいさつ

17:30 閉会

開催 11月3日 (月・祝)
14:30 ~ 17:30
札幌国際ビル国際ホール
入場無料 / 申込不要 / 定員 150名



札幌国際ビル国際ホールへのアクセス
札幌市中央区北4条西4丁目1番地 札幌国際ビル8階
TEL 011-241-9020 http://www.itogumi.jp/kokusai_hall/index.html
[地上から]
さっぽろ駅8番出口横が札幌国際ビルの入り口となります。
駐車場はご用意しておりませんので、最寄りの有料駐車場をご利用ください。
[地下から]
札幌市営地下鉄南北線さっぽろ駅コンコースを出て、すぐに見えるサンクスが目印です。国際ビル飲食店街に入り、左手のエレベータをご利用ください。



お問合せ先 札幌市豊平川さけ科学館
TEL 011-582-7555

さけ科学館 WEB サイト
<http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

[主催] 札幌市豊平川さけ科学館指定管理者 (公財) 札幌市公園緑化協会
[共催] 北海道生物多様性保全活動連携支援センター (HoBiCC)
札幌ワイルドサーモンプロジェクト (swsp)

[協力] 国土交通省北海道開発局札幌開発建設部
(独) 水産総合研究センター北海道区水産研究所
北海道サーモン協会

このチラシは (公財) 北海道新聞野生生物基金の助成により作成しました

札幌市豊平川さけ科学館30周年記念フォーラム～豊平川と野生サケを考える

講演者プロフィール（発表順）



木村 義一氏 | 北海道サーモン協会代表

1931年、いわき市生まれ。北海道大学水産学部増殖学科卒。水産庁北海道さけ・ますふ化場勤務を経て「千歳サケのふるさと館」館長、「北海道サケ友の会」理事などを歴任。2014年、swspに参加。著書に『鼻まがりサケ談義』（北日本海洋センター）など。



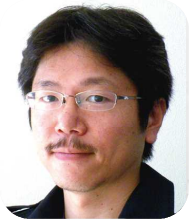
有賀 望 | swsp 共同代表／札幌市公園緑化協会

1973年、東京都生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了後、学芸員を志望し、札幌市豊平川さけ科学館に就職して札幌の水辺の生き物についての環境教育を実践。2014年、swsp創設。現在は札幌市公園緑化協会西岡公園事務所勤務。



畠山 亜希子氏 | 札幌市環境局環境都市推進部生物多様性担当係長

1973年、札幌市生まれ。北海道大学大学院薬学研究科修了後、1997年市役所に勤務。2013年4月から現職。



荒木 仁志氏 | 北海道大学大学院・農学研究院教授

1973年、熊本県熊本市生まれ。九州大学大学院修了。米シカゴ大学、米オレゴン州立大学、スイス水圏科学技術研究所を経て2013年から現職。「養殖放流下でのサケ科魚類の集団遺伝学的研究」で日本進化学会研究奨励賞（2007年）。2014年、swspに参加。



中村 太士氏 | 北海道大学大学院・農学研究院教授

1958年、名古屋市生まれ。北海道大学大学院農学研究科修了後、米森林局北太平洋森林科学研究所を経て2000年から現職。日本生態学会琵琶湖賞（2009年）など受賞歴多数。『川の蛇行復元』（技法堂出版）など著作多数。2014年、swspに参加。

2014年7月「札幌ワイルドサーモンプロジェクト(swsp)」始まる

豊平川のサケは1950年代にいったん絶滅し、70年代以降の市民による稚魚放流活動（カムバックサーモン運動）によって復活を果たしました。札幌市豊平川さけ科学館と独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所の共同調査で、2006年から2012年に豊平川に回帰してきた親サケのうち自然繁殖由来の「野生魚」の割合がほぼ70%まで回復していることが分かってきました。豊平川のサケたちの「野性味」をいっそう高めたいと考えた市民有志が集まり2014年1月、札幌ワイルドサーモンプロジェクトを設立しました。さけ科学館、行政・研究者とともに、同年7月から始動しています。データに基づいて毎年の稚魚放流数を調節する「順応的管理」という新しい手法を提案しています。2014年10月現在の会員は約30人。略称swsp。



お問合せ先

TEL: 011-582-7555

札幌市豊平川さけ科学館

月曜休館 / 祝日の場合翌平日休館 開館時間 9:15~16:45